

磐城公論

毎月(二回)十五日、三十日發行 編輯者 磐城公論社 印刷所 加納活版所 發行所 磐城公論社 電話四〇八番 廣告料 五號字一頁一圓五十錢 場所指定一頁一圓五十錢 定価 一年一圓四十錢

金のかゝる舊式選舉より 職業階級代表の理想選舉へ

政戦切迫し來つた。而も三萬町民の自治人である。三萬町民の生活する自治体である。平町の町政の完全立派なる事を熱望してやまぬ。しかるに實際はどうか!? 平町政が果して完全に立派か??? 記者はその生活環境たる平町の自治政に對して多くの不満を抱いてやまぬ。町政革新を絶叫してやまぬ。

卒直に有りのまゝを云へば、一昨年の縣議戰、昨年の代議士戰は、是れ政黨本位の政戦であつた。が此度の、生活本位の政戦である。記者は讀者諸君も御承知の通り、民政黨の黨人であるが故に、政友會より、無産黨より、更に其他の政黨よりも、自己の屬する政黨、民政黨を擁護してやまぬ。如何に職業柄公正公平を標語とし不偏不黨を表示しても矢張り自己の屬する政黨を熱愛するは是れ人情の然らしむる所如何とも仕方がない。

さばれ所屬政黨も大切ではあるが、記者自身の生活問題も大事である。政治は生活なるが故に。記者は善良なる一町民である。如何なる人に投票すべきか迷はざるを得ない。

余は瘦せても枯れても「社會の木鐸」を以つて任する文筆労働者としての新聞記者である。汝の有する選舉權が如何に神聖にして又投票の自由なるかを更に政界の腐敗は一に懸つて選舉—金錢本位—に金のかゝる事に起因する事實を知る。

四千の有権者諸君に敢て問はん。諸君は從來投票買賣等の舊式選舉を

社告

次號は政戦特別記念號を發刊して政界革新の巨弾を投じ文章報郷の一事を果さんぞす。

「明るい政治」永久に來ない。諸君の身邊にその一票をめぐるあらゆる因縁、情實を斷絶して諸君の屬する職業代表者、階級代表者に向つて「清キ一票」を投ぜられん事を望む。

管見

彈擊

山頭の櫻花は萬葉を飾つた。いくら生活苦の重圍にあるわれらども、花下平日月前半夜の歡樂は望ましい。しかし實際は花下、月前なごの呑氣な話ではない。生活飢餓線に浮沈する無産労働者は

失業者をして得業者たらしむる政治家は最善の政策實行の政治家として歴史に名を留めやう。英の快男兒ロイド、ジョー氏は自由黨の一大旗標として失業者救済を掲げて、今や政戦場に健闘する由。日本の田中大將以つて奈何となす。

自由放言

恥を知らざる政治家は、批難すべき惡徳非行をなす賣女よりも仕末がわるい。彼は極近白下下に曝露された三つの性的罪惡事件は宗教家、教育家の一部の腐敗墮落を如實に語つてやまぬ。

政治家、實業家の惡徳非行だけども澤山であるのに、衆生濟の聖務にある宗教家、人の子を教育する教育家までが惡化しては世も末だ。◎金融機關 消防組、在郷軍人會、青年團等までが政黨的闘争の渦中に捲き込まれ無益有害の邪惡闘争を勇敢にやつて居る甲黨對乙黨が主義、政策を以つて公争公闘するは是れ當然の事であるが如上の諸団体は政黨に超然として各々その独自の機能發揮せねばならぬにも拘はらず黨争渦中に捲き込まれ政黨化するに至つては言語同斷である

知人消息

菊地傳一郎氏 不動澤炭礦社長として炭礦労働者諸君と共に苦闘して居る。同炭礦は過去の逆境より脱して今や事業隆盛の域に進んで來た。新斜坑の掘進作業も日を追ふて進み來月中旬いよいよ着炭の見込がついた。

井上貞治郎氏 磐城建物株式會社支配人として縦横の快腕を揮つて居る。氏は大なる未成品の觀がある。茫漠として捉え難く不得要領で又待要領。

小野晋平氏 政界を退いて専心事業に健闘して居る。關係事業會社廣汎にして寸暇なき活動を續けて居る。

松田卯次郎氏 平館主として多年當地映畫界のために健闘して居る。新らしい映畫上映のために日夜心身を砕いて人知れぬ苦心をして居ることだらう。

急變して「個人の私器」私人の兇器」となる事もある様だ事實の報導者、事件の批評者、問題の探索者、社會の耳目、民衆の指導者、世人事の客觀者又は傍觀者等々としての役割を演ずる新聞記者と雖も一人倍神經の鋭い敏感人間である。(刑事と、スリと、詩人は第六感神經をもたねば出來ない商賣ではあるまいか)憎らしい奴、不愉快な人物、好ましくない人、好意を寄する政黨と人物、敵意をもつ政黨と人物等々、記者の私的感情はさまざまに盲動する。所謂「文は人なり」で記者のそのする文はその人格の反映である。新聞の筆劔、嚴正公平なれ記者の感情常に冷靜なれ。

